

八上校区まちづくり協議会広報誌

やかみ高城

第二十四号

発行日：平成28年10月20日
 発行者：八上校区まちづくり協議会
 人口：2,171名（876世帯）
 男1,051名 女1,120名
 （平成28年9月末現在）

中止になった第十一回 八上ふれあい夏祭り

八上ふれあい夏祭り
 実行委員会
 委員長 丹後 政俊

八上まちづくり協議会は自治会や八上PTAを中心に夏祭り実行委員会を組織して、今回で十一回目となる「八上ふれあい夏祭り」を計画・準備いたしました。

本年度も地域の宝「高城山」をテーマに篠山が生んだご当地ヒーロー「ササグロ」と八上小学校六年生が協力して怪人を倒すというオープニングをはじめ数々のステージや模擬店を準備していましたが、開始直前に降り出した大雨で開始を三十分延期し、そのうち雨風共に強まり、警報まで出たためやむなく中止とさせていただきます。今回の夏祭りを楽しみにしておられた皆様や当日会場まで足を運んでいただいた皆様には本当に残念な結果となりました。皆様には本当に残念な結果となつてしまったことを心からお詫び申し上げます。また、会場準備や警備を担当していただいた皆様には多大なご苦勞をおかけいたしました。なお、激しい暴風雨の中、大きな事故や怪我もなく終了できましたことに実行委員会としては安堵いたしました。当日や翌日の片づけ、後処理などにご尽力いただいた関係者の皆様には心から感謝申し上げます。

今回使い残された金券や抽選券などは来年度も使えますので、また来年度も奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。



第33回八上親睦運動会

体育部副部長 溝畑 哲男

10月2日（日）、前日まで心配していた雨もなく、じつとしていた汗ばむ秋晴れの中、33回目の親睦運動会を行うことができました。各競技とも楽しく応援させていただきました。

ラジオ体操に始まり、小学生、幼稚園演技、幼児による風船取りゲームなどなど、班対抗種目を織り交ぜ和やかな一日でした。

青空ボール、むかで、一般玉入れ、綱引き、ギネスなわとび、男女別作戦リレーと多数の人が参加。力強い声援の中、選手も必死で頑張っていました。また、作戦リレーで失格となったチームも来年は頑張ってください。

校区ごとの運動会に変更になって33年目になり、参加者も増え、運動会であつたかしい人との出会いも楽しい交流の場になっています。今年参加いただけなかった方、来年はぜひ参加して、お互い元気な顔を合わせましょう。

成績結果は、左の表をご参照ください。皆さん、お疲れ様でした。

第33回親睦運動会成績表

総合成績	班	得点	種目別順位									
			青空ボール	むかで競争	一般玉入れ	ギネスなわとび	綱引き	ササグロとマスオさん	作戦リレー女	作戦リレー男	みんないっしょ	みんな仲良く
優勝	4班	45点	3	3	1	3	3	3	3	4	4	
準優勝	5班	41点	1	1	6	7	2	5	4	2	3	
第3位	6班	41点	4	4	5	6	1	1	5	3	2	
第4位	1班	39点	6	2	2	5	5	6	5	1	1	
第5位	3班	37点	2	7	3	1	4	7	1	5	5	
第6位	7班	32点	5	6	4	2	5	4	2	5	7	
第7位	2班	26点	7	5	7	4	5	2	5	5	6	

- 1班：池上・港 2班：糯ヶ坪
- 3班：糯ヶ坪・糯ヶ坪北
- 4班：小多田一・二・三区
- 5班：殿町・西八上
- 6班：八上下・八上内
- 7班：京町・京町南・渋谷



ブービー賞 7班
 準優勝 5班
 優勝 4班

護身術講座
 生活環境部部長 堀毛 隆宏

昨今、全国各地で子どもや女性を狙った卑劣な犯罪が多発しています。篠山市内においても、声かけ事案、不審者情報等が発生しています。「自分の身の安全は自分で守る」方法を



中央で指導される吉田栄治館長と門下生

を知ってもらおうと昨年に引き続き、八上校区親睦運動会の時間をお借りし、「護身正道・誠栄館」吉田栄治館長（篠山市住吉台）、他5名の門下生を講師に護身術講座を開催しました。実技指導では、いざという時に身を守る方法（人に手首をつかまされた時の振りほどき方、すぐにも逃げられる技）を体験することができました。今後も青パト活動と併せ、安心・安全の八上のまちづくりのため、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

篠山の四季 写真集

推薦者・糯ヶ坪 大森 作之

キタガワ キチジ
 作者「喜多川 吉次」氏は、昭和21年6月篠山市八上内に生まれ、現在西宮市に在住。「日本風景写真協会 兵庫第二支部」に所属。

故郷である丹波地域の四季を永年撮り続けながら、八上内にある畑へ野菜づくりに通う。

平成24年には、作品の集大成として個人写真集『郷愁 夢丹波』を発表。愛機アナログカメラ「ハッセルブラッド」での撮影にこだわりを持ち、カールツァイスレンズの優れた描写力、色彩表現力を引き出す絵のような写真を目標とする。

今号から、作品の中よりピックアップをしてシリーズで掲載をします。移り変わる篠山の四季、光と影が織り成す絶妙な一瞬の切り取りをお楽しみ下さい。

喜多川 吉次 写真集『郷愁 夢丹波』



秋「丹波夕景」 篠山川統合井堰

八上に帰郷して野菜づくりしていた時、西の空が赤く染まっているのを見て、車で篠山川に駆け付けると、日の入りの光彩が美しく水面に映えていた。

※11月12・13日 八上校区文化祭（高城会館）に喜多川さんの作品数点を展示しております。また、昭和の写真集の展示もしております。ご覧ください。（編集部）